

<取材のお願い>

2023年11月6日

鳥取大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

中国とフィリピンの大学院生らが「鳥取の循環型社会」を学ぶ

～鳥取大学の学生と共に、農業における持続可能な循環型社会の構築を目指す～

鳥取大学では、11月12日（日）～11月18日（土）、中国農業科学院とベンゲット州立大学（フィリピン）より、大学院生6名、研究者等4名の計10名を招へいし、「農村地域から学ぶ持続可能な循環型社会構築に向けた科学技術のあり方」をテーマに、科学技術体験プログラムを実施します。

本学では「知と実践の融合」という基本理念の下、科学の知識を応用・実践しながら様々な課題に取り組んできました。特に近年では、持続可能な循環型社会を目指した農海産物の6次産業化（農林漁業者（1次産業）が、農産物などの生産物の元々持っている価値をさらに高め、それにより農林漁業者の収入を向上していくこと）技術や、農業の担い手や経営規模の促進に関わる研究に力を入れています。また、鳥取県も「農村から真の持続可能なまちを実現する」ことを目指し、産官学協力の循環型社会構築のための取り組みを積極的に推進しており、内閣府より令和4年度「自治体SDGsモデル事業」に選定されています。

このような背景から、本プログラムでは、鳥取地域が推進する「循環型社会」構築のための様々な科学技術研究や取り組みに関する理解を深めることを目的とします。

プログラムでは講義のほか、地域資源を活用したスマート農業のアプローチについての体験学習、本学と地元企業の共同開発による廃ガラスを有効活用した土壌改良資材、耕作放棄地を含む農地（鳥取市内）を活用した微生物発電、大江ノ郷自然牧場（八頭町）で自然循環型農業の6次産業化成功例の現場等を視察し、地域住民を巻き込んだ持続可能な循環型社会を構築する取り組みを学びます。

さらに11月17日（金）には、プログラムで学んだことを基に、各国が抱える独自の課題と自国の課題を比較し、さらなる課題発見とその解決策をグループで発表します。

本プログラムによって日中比の若手研究者のネットワークがつけられ、地球規模の循環型社会を共同で構築するきっかけとなることが期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プロ

グラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、本プログラムのうち **11月17日(金)に実施するグループワーク及びグループ発表の様子**を取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の安延久国際交流センター長へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は **11月15日(水)午後5時まで**に担当者へご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】 ●講義「鳥取の循環型社会」ほか ●視察（大江ノ郷自然牧場、(株)鳥取再資源化研究所微生物発電実証試験場、温泉を利用したスマート農業、廃校を有効利用した植物工場）等 ●グループ発表 ●意見交換会

【実施場所】 鳥取大学鳥取キャンパス、
大江ノ郷自然牧場（八頭町）、微生物発電実証試験場（鳥取市）ほか

【研修日程概要】

11月12日(日)	午前：来日 午後：鳥取へ移動
11月13日(月)	午前：オリエンテーション、学内見学（鳥取大学鳥取キャンパス） 午後：鳥取の循環型社会についての講義と事前学習課題の確認、日本文化紹介（同）
11月14日(火)	午前：研究室訪問。地域と共同開発した商品や研究についての講義（同） 午後：地域資源の見学と体験（山陰海岸遊覧船乗船、鳥取砂丘）
11月15日(水)	午前：「OOE Valley Stay」でバームクーヘン体験と視察（八頭町） 午後：大江ノ郷自然牧場視察（同）、研究室訪問（鳥取大学鳥取キャンパス）
11月16日(木)	午前：廃ガラスを用いた土壌改良資材や、本学研究室と共同研究の微生物発電に関する講義（鳥取大学鳥取キャンパス） 午後：微生物発電実証試験場の視察、スマート農業現場視察、廃校を利用した植物工場の視察（鳥取市）
11月17日(金)	午前：グループワーク、グループ発表（鳥取大学鳥取キャンパス） 午後：修了式、意見交換会（同）、大阪へ移動
11月18日(土)	午前：離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

鳥取大学学生部国際交流課
(担当：越智)

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室
https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form (担当：田中(禎)、太田)